

しばこうかんがあかいわたしず  
「司馬江漢画赤岩渡図」

松伏町指定有形文化財（絵画）  
平成17年4月22日指定

司馬江漢（1747-1818）は、いち早く西洋画の技法を取り入れ、日本で初めての腐食銅版画（エッチング）作品を制作したことで知られる画家です。また、蘭学者としても活躍し、多才な人物として知られています。

司馬江漢は晩年の文化8年（1811）に岩槻の知人を訪れています。この「赤岩渡図」（個人蔵）は、その際に赤岩に立ち寄り描いたものと考えられています。高名な画家である司馬江漢は、各地で歓待されながら旅をしたものと思われ、築比地村の桃に囲まれた農家の風景も描いています。

絵の背景になっているのは桃の花です。松伏はかつて桃の産地として知られていました。花の季節には文人たちが訪れ、桃源郷にも例えられています。

簡素な作品ですが、晩年の司馬江漢の自由な作風がうかがえ、また往時の上赤岩村の風景を今に伝えてくれる貴重な作品です。

